



No.110

2018.11

あっぱし

# 議会だより

◆発行／厚岸町議会

◆編集／議会広報特別委員会



## おもな内容

- 第3回定例会
  - \* 決まったことがら ..... 2～3
  - \* 各常任委員会の活動状況 ..... 3
  - \* 一般質問 ..... 4～9
- 議会の動き ..... 10

## 一般質問者

- ・ 南谷議員 ..... P4
- ・ 佐々木(亮)議員 ..... P5
- ・ 室崎議員 ..... P6
- ・ 石澤議員 ..... P7
- ・ 竹田議員 ..... P8
- ・ 音喜多議員 ..... P9

# 第3回定例会

第3回定例会は、去る9月19日招集され、3日間の会期で行われました。  
また、一般質問には、6名の議員が町政全般についてたどしました。

## 決まった ことから

### 議決

#### 損害賠償の額を定めることについて

町営牧場の牧場作業員が公用車を運転中、厚岸町大別1番地先の道道厚岸標茶線との交差点において、一時停止後から直進してきた相手方車両と衝突し、当該車両を運転していた相手方を負傷させた事故の人身に対する賠償額を100万7504円と決定しました。(全会一致)

#### 財産の取得について

財産の名称 トラクター1台  
取得価格 1290万6千円  
契約相手 日本ニューホランド株式会社 (全会一致)

#### 工事請負契約の締結について

工事名 町営牧場大別団地隔離牛舎パドック新築工事(土木工事)  
請負金額 9774万円  
請負契約者 ホクホウ・山崎  
経常建設共同企業体 (全会一致)

#### 工事請負契約の締結について

工事名 床潭末広間道路地すべり対策工事  
請負金額 6156万円  
請負契約者 株式会社宮原組 (全会一致)

#### 工事請負契約の締結について

工事名 御供山避難階段製作  
請負金額 1億4580万円  
請負契約者 株式会社ナリテツ (全会一致)

#### 平成29年度厚岸町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

水道事業会計における29年度未処分利益剰余金6792万8950円のうち、2900万円を建設改良積立金に積立て、800万円を資本金に組み入れ、残余の3092万8950円を翌年度に繰越す処分を決定しました。(全会一致)

#### 議員の派遣

次のとおり議員を派遣することに決定しました。

10月20日・21日 第66回北海道女性議員協議会総会及び研修会(札幌市)

11月7日・8日 釧路町村議会議長会主催町村議員研修会(弟子屈町)

### 陳情

総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律の早期制定を求める意見書提出に関する陳情

本陳情については、本会議において総務産業常任委員会に付託され、会期中に審査が行われ採択されました。(全会一致)

### 報告

平成29年度厚岸町一般会計等における健全化判断比率及び公営企業会計における資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、平成29年度厚岸町一般会計等における健全化判断比率及び公営企業会計における資金不足比率についての報告を承認しました。

### 条例

厚岸町立保育所条例及び厚岸町立へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について

子ども・子育て支援法施行令の一部改正に伴う改正を行いました。(全会一致)

厚岸町工業等振興条例の一部を改正する条例の制定について

町内での地域経済牽引事業の実施による地域の成長発展の基盤強化を図り、経済の健全な発展に資することを目的に町内事業者の事業を促進するため、本条例における対象事業に法に規定する事業を追加整理する改正を行いました。(全会一致)

職員の分限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

職員の分限のうち職員の意に反する降任、免職、休職及び降給の手續及び効果を条例に加えて定め、国家公務員の分限に関する事項を定めている人事院規則の規定に合わせた字句の整理を行う改正を行いました。(全会一致)

厚岸町事務分掌条例の制定について

限られた人員で最大の効果を発揮できる組織体制とするため、課の統廃合を行い、現在の9課1室から10課2室に再編する改正を行いました。(全会一致)

## 補正予算

一般会計他5件の補正予算については、各会計補正予算審査特別委員会付託審査し、本会議において全会一致で可決しました。

### 平成30年度厚岸町一般会計補正予算(1回目)

歳入歳出予算の総額に116万4千円を減額し、予算総額を94億6744万2千円とする。

#### 主な内容

町営牧場整備事業(投資)

1351万6千円の減

厚岸漁港衛生管理型荷捌所整備事業(投資)

1700万円の増

太田2号道路防雪柵整備事業(投資)

1116万7千円の増

床潭末広間道路整備事業(投資)

2億483万9千円の減

平成30年度厚岸町国民健康保険特別会計補正予算(1回目)

歳入歳出予算の総額に3624万9千円を追加し、予算総額を14億6461万8千円とする。

平成30年度厚岸町簡易水道事業特別会計補正予算(1回目)

歳入歳出予算の総額に52

4万3千円を追加し、予算総額を8877万5千円とする。  
平成30年度厚岸町下水道事業特別会計補正予算(1回目)

歳入歳出予算の総額に409万9千円を追加し、予算総額を7億4951万7千円とする。

平成30年度厚岸町介護保険特別会計補正予算(1回目)

歳入歳出予算の総額に3881万3千円を追加し、予算総額を10億6971万4千円とする。

平成30年度厚岸町後期高齢者医療特別会計補正予算(1回目)

歳入歳出予算の総額に66万6千円を追加し、予算総額を1億4387万6千円とする。

## 人事

教育委員会委員の任命に対する同意を求めることについて

森脇直美氏を選任することに同意しました。(全会一致)

## 申出

### 閉会中の継続調査申出書

総務産業常任委員会、厚生文教常任委員会及び議会運営委員会から、次の定例会まで

の閉会中における継続調査の申し出があり、承認されました。

各委員会の調査事項は次のとおりとなっています。

### 総務産業常任委員会

- (1) 総務及び防災に関する事項
- (2) 財政及び税に関する事項
- (3) 財産に関する事項
- (4) 商工・労政及び観光に関する事項
- (5) 農業、林業、畜産及び水産業に関する事項
- (6) 土木、建築及び都市計画に関する事項
- (7) 出納に関する事項
- (8) 他の常任委員会の所管に属しない事項

### 厚生文教常任委員会

- (1) 国民健康保険に関する事項
- (2) 介護保険に関する事項
- (3) 民生及び福祉に関する事項
- (4) 保健衛生及び生活環境に関する事項
- (5) 上下水道に関する事項
- (6) 学校教育、社会教育及び生涯学習に関する事項
- (7) その他厚生及び文教に関する事項

### 議会運営委員会

- (1) 議会運営に関する事項
- (2) 議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項
- (3) 議長の諮問に関する事項
- (4) その他本委員会所管に関する事項

## 決算

平成29年度厚岸町一般会計、特別会計(国民健康保険・簡易水道事業・下水道事業・介護保険・後期高齢者医療・介護老人保健施設事業)歳入歳出決算の認定及び企業会計(水道・病院)決算の認定

以上9件の決算認定を、平成29年度各会計決算審査特別委員会に付託し、閉会中に審査を行うことに決定しました。10月18日開催。

## 意見書

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

〔提出者 大野利春 議員〕

本意見書は、全会一致で可決され、衆・参両院議長及び関係行政機関に送付されました。

総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律の早期制定を求める意見書

〔提出者 南谷 健 議員〕

本意見書は、全会一致で可決され、衆・参両院議長及び関係行政機関に送付されました。

## 各常任委員会の活動状況

〔平成30年7月1日から〕

平成30年9月30日まで

### 総務産業常任委員会

第4回(8月28日)

- ① 所管事務調査報告書について

- ② 厚岸漁港衛生管理型荷捌所整備事業について

- ③ 財政状況について

- ④ 閉会中の継続調査申出書について

第5回(9月19日)

- ① 陳情第1号 総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律の早期制定を求める意見書提出に関する陳情について

### 厚生文教常任委員会

第8回(8月1日)

- ① 健康増進計画「みんなすこやか厚岸21(第2期)」の進捗状況について

第9回(9月3日)

- ① 閉会中の継続調査申出書について
- ② 障がいのある人への職員対応マニュアルについて

# どこのを通る自動車道

南谷 健議員



## 自動車道（道東道尾幌―糸魚沢間）の進捗状況について

完成までの見通しは。

【平成29年8月25日】北海道地方小委員会  
【審議内容】  
■計画段階評価手続の進め方  
■地域・道路の現状と課題  
■地域意見聴取方法

【平成29年12月6日～12月27日】地域意見聴取（第1回）  
○地域・道路の課題  
◆意見聴取方法（案）  
＜ヒアリング＞  
対象者 ・ 沿線自治体等 ・ 関係団体  
＜アンケート＞  
対象者 ・ 地域住民 ・ 道路利用者

【平成30年6月21日】北海道地方小委員会  
【審議内容】  
■地域意見聴取の結果  
■地域意見を踏まえた路線の政策目標  
■地域意見を踏まえた路線の整備方針（案）  
■比較ルート案（複数案）  
■地域意見聴取方法

地域意見聴取（第2回）  
○路線の整備方針  
◆意見聴取方法（案）  
＜ヒアリング＞  
対象者 ・ 沿線自治体等 ・ 関係団体  
＜アンケート＞  
対象者 ・ 地域住民 ・ 道路利用者

北海道地方小委員会  
【審議内容】  
■地域意見聴取の結果  
■対応方針（案）の検討

対応方針の決定（概略ルート・構造等）

※各段階で随時自治体と調整

【答】 回答者の8割以上が必要性があると感じ、結果は町の考えと合致しています。

【問】 2ルート案のどちらを町は要望されますか。

【答】 全区間を国道44号と別路線にする別線整備ルート案と、部分的に現道を活用する一部現道活用ルート案が示されました。別線整備ルート案は、津波浸水予測範囲を回避し、安全性や速達性、耐災害性が優れています。一方、現道活用ルート案は、環境に配慮が必要な所を通過するほか、所

## 成人式について

【問】 民法改正で2022年4月から成人年齢は20歳から18歳となり、本町の対象年齢、もし18歳となれば実施年月日は。また、対象者人数は。

【答】 対象年齢と実施時期は、今後、国が実施モデルケースを各自自治体に提示するので、その内容を参考に検討したい。

【問】 対象者は、2022年度に20歳が85名、19歳が98名、18歳が75名で、18

## 給食費について

【問】 現在の給食費で成長期の児童生徒へ十分に給食が供給できていますか。

【答】 学校給食はエネルギー、たんぱく質等、年齢別に一人1食当たりの栄養摂取基準が定められ、これらの基準を満たし、提供しています。今年

要時間をあまり短縮できず、津波浸水予想区域でのかさ上げ整備費用が増加します。

町は、工期が短く、速達性や耐災害性などに優れる別線ルート案を地域意見聴取時に伝えます。

【問】 町民の声を聴き、官民一体となり、オール厚岸で早期完成に向けた取組は。

【答】 2ルート案について、沿線自治体住民や道路利用者へのアンケート調査を予定しております。また、機会あるごとに要請活動を行い、構成団体（各経済産業団体）への積極的な参加呼びかけをします。

【問】 新成人が直接参画するなど人生の門出となる成人式にすべきでは。

【答】 新成人の意見を取り入れ、多くの新成人にも参画していただくよう努めます。

円収入不足の見込みです。本定例会補正予算で地場産の牛乳を公費負担とし、保護者から頂いている牛乳代金を野菜高騰分に当てることで、今年は給食費の値上げをしません。

【問】 給食費は、受益者負担の観点から助成困難としていますが、子育て支援の見地から全額助成を無理とすれば一部助成を考慮すべきでは。

【答】 今後、野菜等の高騰や消費税の増税等、追加の財源が必要となった場合、給食費の値上げではなく、一部助成を考慮しており、次年度以降の給食会計のあり方について子育て支援の観点からどのような助成ができるか検討します。



おいしいおいしい給食

# 発達時期にある 児童生徒の負担軽減を

佐々木亮子 議員



**問** 小中学生の通学時のランドセルやかばんが健康や体の発達に影響を与えかねない重さに達していると問題になっているが、当時の状況はどうか。また、負担軽減についてどのようなことを考えているのか。

**答** 児童生徒が使用している教科書は、従来に比べて教科書の重量が重くなっている。通学かばんの重量は、6時間授業で約3・5キロ、学習内容に応じて約5キロになる。また、学用品



には、習字道具や絵の具セットなど、中学校では部活動の用具などがある。教育委員会としては、発達途上の児童生徒にとって、登下校時に過度

となる学用品を持ち運ぶ状況は、健康面において配慮すべきと考えている。北海道教育委員会の通知に基づいて、町内小中学校に対して適切な対応をするよう指導をした。

## 介護予防・日常生活 支援総合事業について

**問** 利用実績は、どのようになっているのか。

**答** 介護予防訪問介護、介護予防通所介護は増加。一般介護予防事業は順調に推移していると考えている。

**問** 問題点の検証はされているのか。

**答** 総合事業移行時に言われていた問題点として「今まで利用していたサービスを利用できない人がでるのでは」「サービスの質が落ちるのでは」というものがあつたが、利用者は増加しており特に介護予防通所サービスでは介護認定を受けていない方でもサービスに繋がった方が3人おり利便性が向上している。質の問題についても、低下はないと考えている。介護資格を持たない地域住民やボランティアが担い手となる多様なサー

ビスの提供については、今後の課題として捉えている。

## 独居高齢者等の基本 情報の共有について

**問** 独居高齢者等が自宅で体調不良等のときに、緊急時連絡先や身体状況についての基本情報について関係者が共有することはできているのか。

**答** 体調不良時の対応として、町では、緊急通報装置の配置を行っている。また、自治会と社会福祉協議会及び町が協力し、災害時等要援護者登録事業で「緊急情報キットかけはし」を行っており、現在、11自治会372人が登録されている。登録者の情報のうち、氏名、住所等については、所属自治会、社会福祉協議会、厚岸消防署、厚岸警察署、町立厚岸病院及び町で共有している。また、地域包括支援センターで日常的な業務や隔年で行っている独居高齢者へのアンケートなどにより収集した情報をシステム入力し蓄積してきている。しかし、これらを合わせても高齢者等の一部の情報であり内容も詳細になっ

ておらず、関係者の情報共有は部分的なものになっている。情報を共有するには情報を把握する必要があるが、多くの時間を要することや個人情報保護の観点からも非常に困難な問題と考えている。

## 使用されていない学 校等の屋外設置され た遊具等について

**問** 管理はどのようにされているのか。また、今後どのようにするの

**答** 旧床潭小学校と旧尾幌小中学校の鉄棒は使用禁止の看板を設置しており、旧厚静小学校は、鉄棒とブランコがあるが、正面入口にロープを張って立ち入り禁止にして敷地に入れないようになっている。今後の対応については、残っている遊具を早急に撤去していきたくと考えている。それ以外はずでに撤去している。床潭へき地保育所は、再開の可能性もあり撤去せず、入口に柵を設置し立入禁止にしているが、床潭自治会と協議し、その結果により検討したい。尾幌へき地保育所は、遊具も老朽化してきており、尾幌自治会と協議していき

# 大停電から学んだこと



## 室崎正之議員

**問** 今回の大地震に伴う停電で、どんな事態が生じたか。

**答** 防災行政無線の機能が期待通り発揮されなかった。各家庭での備えが十分でなく、

懐中電灯、電池、カセットコンロ、食料品等が在庫切れとなり、日常生活に影響が出た。役場では窓口対応の業務に支障を来し、不便をかけた。

水産加工場や酪農家に大きな業務支障が出た。

**問** 浮かび上がった問題点にどう対処するか。

**答** 地震発生後午前4時42分から計26回防災無線による情報伝達を行った。しかし室内機が鳴らない、屋外放送では聞き取れない、停電はどの範囲でいつまで続くかという問い合わせが殺到した。室内機の不具合は受信機の電池交換が適切に行われていなかったためと考えられる。また、広

報車を巡回させるべきだったと反省している。

避難訓練、避難所運営ゲーム、自主防災活動の際、非常用持ち出し品の必要性につき啓発活動を行っているが、一層の啓発活動が必要である。

**問** 避難訓練の際の参加が少ない。町民の防災意識が低いと言われるが、防災意識の高い町民を育てるのは、自助共助公助でいう公助だ。町の仕事だ。避難訓練の日はそれだけでなく、家具の転倒など家の中に危険がないか、食糧や電池の備蓄、ラジオ、懐中電灯、室内受信機電池交換など

備えに落ちはないかの点検をする日と位置づけ、それも防災訓練参加のひとつとして町民に呼びかける。また貴方はなにを行いましたかと、アンケート等で問いかける。いろいろな手法で意識の高揚を図ることが必要だ。

**答** 検討する。

**問** 役場の停電時における、備えが弱い。

**答** 非常用電源設備の見直し、発電機を必要とする部門への配備等検討する。

**問** 産業関係ではどうか。

**答** 水産加工場や酪農家の長期停電に対する備えが脆弱で大きな影響が出た。今後有事に備えた体制づくりのため、関係機関との連携につき検討する必要がある。

## がん(癌)対策について

**問** がん(癌)予防の施策。

**答** 厚岸町においてがん(癌)は死亡原因の第一位で、国民の2人に1人はがんにかかる

とされ、年間37万人ががんにより死亡している。

がんの大きな原因は、生活習慣と感染とされる。

個々人の生活習慣の改善が予防に繋がる。町では健康増進計画「みんな健やか厚岸21」に基づき普及啓発を行っている。特に「喫煙率が高い」「塩分摂取量が多い」という健康課題があり、これを重点目標としている。

感染については肝炎ウィルス検診等を行っている。

**問** 生活習慣改善、健康教育は網の目を細かく行っている。産業団体や、企業、自治

その一歩で、未来が変わる。

がん検診に  
行くのよ

がんは早期発見で完治できる可能性が高まります。  
自分のために、誰かのためにがん検診を。

がん検診ポスター

会、学校にどう働きかけているか。

**答** 話のあった企業等に、健康教育の機会を持ったことはある。がんの予防という観点からは行っていない。

**問** がん(癌)の早期発見と重篤化防止対策。

**答** 無症状のうちにがん検診により早期に発見し、治療することが重要である。町では健康増進法に基づき、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、

子宮がんの5種の検診を厚岸省の指針に従って、対象者、方法、受診間隔を定め行っている。検診が受けやすいよう、集団検診の他、検診日を選べる個別検診も実施している。また、検診の周知を含めた受診勧奨を行い、検診後の相談会や家庭訪問による説明、精

密検査の必要な方への個別受診勧奨を行っている。

**問** 病気治療後を含め、がん患者への支援。

**答** がんと診断された方やその家族は、精神面、身体面、経済面等で様々な苦痛や不安を抱えており、支援の必要性がある。罹患者を全員把握することは困難で、個別の支援は相談のあった場合に限定されてしまうのが現状である。町内でもがん患者や家族等が集う患者の会が結成されており、この活動の支援や紹介、がん専門相談窓口や医療機関に関する情報提供を継続して行っていく。

今後は身近な相談窓口として、保健師もがんを含む健康相談を受けていることの周知や各種情報提供に取り組む。

# 安心して暮らすために

## 石澤由紀子 議員



### 停電対策について

**問** 今回の全道停電は、私たちの生活に大きな影響を与えた。酪農では搾乳牛の乳房炎などが発症して生産に支障が出た。農協は援助を前提に組合員に発電機の購入を勧めているが、町としても援助を考へられないのか。

**答** 農協では、発電機の導入は災害によっては移動できないことも想定し、酪農家個々が備えるべきものとして検討を進めている。町としては、補助制度や国の対策等について注視しつつ、農協と連携して対応を図っていく。

**問** ネットなどのデマ拡散が相次いでいる。正しい情報を伝えるために、防災無線は重要だと思うが作動不良の話も聞いた。作動状況の確認も必要と思うがどうか。

**答** 各家庭での作動状況の確認はもとより、定期的な電池交換について周知していく。

### 再生可能エネルギーについて

**問** 今回の停電に至るブラックアウトを防ぐためには、小規模な発電設備の分散が重要と言われている。

**答** 以前にも質問しているが、本町での再生可能エネルギーによる発電はどのようになっているか。今後、どう考えていくのか。

**答** バイオガス発電プラントの導入に向けて農協を中心に検討が進められているが課題が多く具体的な方向性が打ち

### 子ども達の心からだの発達について

**問** 北海道教育委員会から平

出されていない。町としては、引き続き再生可能エネルギーの有効利用について農協と連携しながら検討を進めていく。

成29年に「性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童生徒への対応について」という通知が各市町村教育委員会教育長宛なされているが中高生の制服の選択などどのような対応をしているのか。

**答** 通知の内容に相当する相



談は、今のところ無いが、当該生徒や保護者からの相談を受けた際に学校内で検討し適切に対処する体制ができていく状況だ。

**問** インターネットなどの普及で子ども達の周りは色々な情報があふれている。その中には、虚偽や暴力的な性情報など歪んだものもある。性教育は、自分の人生を左右するほど大切な教育だと思う。ネットを含めたメディアリテラシーや、自分のからだと他人のからだをお互いに尊重し大事にしなければいけないということを、発達に即して早い段階から子ども達に伝えていく必要があると思う。包括的性教育の取組をすべきと思うがどうなのか。

**答** 指摘の通り児童生徒がメディアリテラシーを身に付けて実用していくことは、これからの時代を生きていくために必要な力である。地域やPTAとも共通の認識をもって対処できるよう取組を進めている。

# 乳幼児健診について

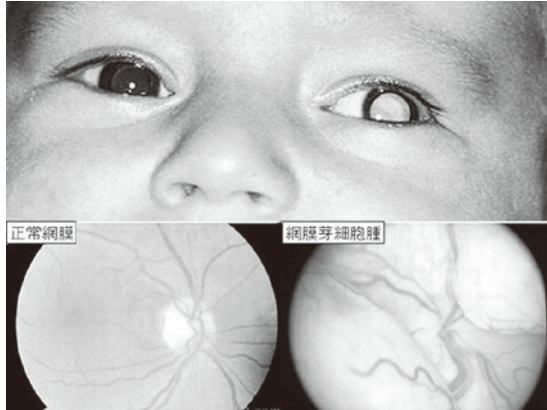
竹田敏夫議員



**問** 網膜芽細胞腫の早期発見のため、乳幼児健診の項目に町として指定する考えはないか伺います。

**答** 網膜芽細胞腫は、網膜に発生する悪性腫瘍で、乳幼児に多い病気であり、出生児1万5千人から1万6千人につき1人の割合で発生しております。ある程度進行すると、光が腫瘍に反射して猫の目の様に白く光って見えたり、左右の眼球の向きが合っていない状態になったりすることから、こうした症状に家族が気づいて受診する場合が多く、95パーセントが5歳までに診断されており

ます。当町における乳幼児健診は、乳児期は個別



気をつけたい小児の目の病気

健診として3から6カ月健診及び9から11カ月健診、幼児期は集団健診として1歳6カ月健診及び3歳児健診の合計4回実施しております。また、健診ではありませんが保健師及び栄養士による「あかちゃん相談」を4カ月児及び7カ月児を対象に毎月実施しております。

母子健康手帳には、保護者が記載する項目として、まぶしがるなどの目つきや眼の動き、斜視や眼が白く光って見えないかなど、眼の異常の早期発見に繋がる内容が記載されており、保健師による新生児家庭訪問やあかちゃん相談、乳幼児健診の際には、医師や保健師がその記載内容も確認のうえ総合的に異常の有無について判断しております。

**問** 5歳までの健診は万全ではないと思うがどうか。

**答** 5歳までの健診は万全ではありません。

**問** 検診項目に入れることについて、メリット・デメリットはどう捉えているのか。

**答** メリット・デメリットについて調査していきたい。

**問** 検診項目に入れることを今一度お願いしたいがどうか。

**答** 町としてできるかどうか、検討してまいります。

## 厚岸道立自然公園の国定化に向けた取組について

**問** 2020年にも国定公園化になる方向と聞いているが、それに向けた取組について町の考え方を伺います。

**答** 厚岸道立自然公園の国定公園化は、平成16年度に北海道による調査が行われ、規制が強化されるのではないかといった漁業者の不安から地元合意が得られず、国定公園化の動きは停滞しておりました。

このような地元厚岸町の現状を踏まえ、まずは地元合意に至っていない要因である漁業者の不安を払拭するため、北海道に対して厚岸町と厚岸漁業協同組合との連名により、厚岸道立自然公園における厚岸湖の地種区分を第3種特別地域から普通地域に変更していただきたいとの要請を行ってまいりました。

北海道においては、去る8月1日に開催された自然環境に関する道の諮問機関である「北海道環境審議会自然環境部会」に、現状のまま厚岸湖を普通地域とする「厚岸道立自然公園の公園計画の一部変更」が適当と認める答申がなされ、厚岸湖を普通地域とする公園計画の決定に向けて現在、事務手続きを進行中であり、町としては、厚岸道立自然公園における厚岸湖の普通地域への変更が確定後、速やかに関係する釧路町、浜中町

など関係機関と連携して、北海道に対し、国定公園化に向けて関係機関との調整や調査などを推進するよう要請活動を強化して、早期の国定公園化実現に努めてまいりたいと考えております。

## 町におけるNHK受信料について

**問** 契約及び支払いについてどうなっているのか。

**答** 町が日本放送協会いわゆるNHKと放送受信契約を行い、受信料を支払うのは、全体では、地上契約は68台、衛星契約は8台、計76台となっております。契約金額は、全体で年間98万2860円となっております。福祉に準ずる施設は、日本放送協会放送受信料免除基準に該当し、全額免除となっております。

**問** 平成29年12月6日最高裁の判決は、NHK受信料の支払いは法律に基づいて契約をしたら支払義務が発生するといった。いわば契約をしなれば支払義務はないということである。ならば厚岸町は全てに契約書があるのか。

**答** 全ては確認しておりません。

# 新たな森林管理 システムについて



音喜多政東議員

**問** 国は地球温暖化対策の一つとして、全国民が等しく負担を分かち合い、森林による一酸化炭素吸収を支える仕組みとして、2024年から森林を整備する費用に充てる森林環境税（仮称）の創設が予定されている。この制度の実施に向けて本年5月に森林経営管理法が成立し、行う事業の財源は森林環境税の収収を先行して充てる森林環境譲与税（仮称）が見込まれ、来年度から実施の運びで、その収収の一部が各自治体にも配分が予定されています。

この法律による森林整備の仕方として、森林所有者は意欲と能力のある森林経営者に委ねる方法と、森林経営に適さない森林は市町村の自治体が自ら管理しなければならな

来年度から各自治体に配分が予定されており、森林環境譲与税（仮称）の使途は既存施策の予算に充当するのではなく、新規の施策、あるいは事業量を確実に増加させる施策に充てるとされ、現在検討段階であります。この制度に必要な費用のほか人材育成、担い手確保対策、木材利用の促進、普及啓発などに計画的効果的に活用してまいりたい。

**問** 森林所有者の確定、境界の明確化が重要である。森林所有者の不明や、町境界における不明確な所在地の森林はあるのか。

**答** 森林経営管理制度の対象森林は、地域森林計画の対象森林であり、当町においては筆界の未定により、森林所有者の確定、及び境界が不明確な森林は数件あるものと考えておりますが、現在森林台帳の精査中で正確な数は把握しておりません。また、町境界における不明確な森林は無いものと思われ、所有者が不明な森林は未調査のため把握ができておりません。

**問** 町内の森林所有者の管理状況はどうなっているのか。

既に管理委託、所有者自ら管理、全く管理されていないとした場合の割合はどうか。

**答** 当町の地域森林計画の対象森林は、町有林を除く私有林の総所有者数は645人です。その内、森林経営計画を作成し林業事業体に管理委託している者139人で全体の約21・7%、所有者自ら管理1法人で0・2%となっています。

森林経営管理制度では、対象となる森林は、地域森林計画の対象森林のうち、人工林で適切に管理されていない森林とされ、当町で対象となる森林は、北海道の調査簿リストから所有者で200人、面積は約400ヘクタールとなっており、法律施行後は町内の森林経営管理が円滑に行われるよう必要な措置を講じてまいります。



議会の動き（各議員の出席状況）

7月24日から10月22日まで

| 会議種類 | 開催日・期間    | 会議名称               | 開催日数 | 議員氏名（議席順） |     |    |       |      |      |       |     |       |      |      |       |      |
|------|-----------|--------------------|------|-----------|-----|----|-------|------|------|-------|-----|-------|------|------|-------|------|
|      |           |                    |      | 大野利春      | 中屋敦 | 堀守 | 石澤由紀子 | 竹田敏夫 | 室崎正之 | 音喜多政東 | 南谷健 | 佐々木敬治 | 杉田尚美 | 中川孝之 | 佐々木亮子 | 佐藤淳一 |
| 本会議  | 9月19日~21日 | 第3回 定例会            | 3    | ○         | ○   | ○  | ○     | ○    | ○    | ○     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | ○    |
|      |           |                    |      |           |     |    |       |      |      |       |     |       |      |      |       |      |
| 委員等  | 7月26日     | 総務産業常任委員会所管事務調査    | 1    | ○         | ○   | —  | —     | ○    | —    | —     | ○   | —     | —    | ○    | ○     | ○    |
|      | 8月 1日     | 第8回 厚生文教常任委員会      | 1    | —         | —   | ○  | ○     | —    | ○    | ○     | —   | 欠     | ○    | —    | —     | —    |
|      | 8月23日     | 第7回 議員協議会          | 1    | 欠         | ○   | ○  | 欠     | ○    | ○    | ○     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | ○    |
|      | 8月28日     | 第4回 総務産業常任委員会      | 1    | ○         | ○   | —  | —     | ○    | —    | —     | ○   | —     | —    | ○    | ○     | ○    |
|      | 9月 3日     | 第9回 厚生文教常任委員会      | 1    | —         | —   | 欠  | ○     | —    | ○    | ○     | —   | 欠     | ○    | —    | —     | —    |
|      | 9月 6日     | 第8回 議員協議会          | 1    | ○         | ○   | ○  | ○     | ○    | 欠    | 欠     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | ○    |
|      | 9月14日     | 第5回 議会運営委員会        | 1    | ○         | ○   | ○  | ○     | ○    | ○    | ○     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | ○    |
|      | 9月19日     | 第5回 総務産業常任委員会      | 1    | ○         | ○   | —  | —     | ○    | —    | —     | ○   | —     | —    | 欠    | ○     | ○    |
|      | 9月19日     | 第6回 議会運営委員会        | 1    | ○         | ○   | ○  | ○     | ○    | ○    | ○     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | ○    |
|      | 9月20日     | 第7回 議会運営委員会        | 1    | ○         | ○   | ○  | ○     | ○    | ○    | ○     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | ○    |
|      | 9月20日     | 第9回 広報特別委員会        | 1    | —         | —   | —  | —     | —    | —    | ○     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | —    |
|      | 10月 1日    | 第10回 厚生文教常任委員会     | 1    | —         | —   | ○  | ○     | —    | ○    | ○     | —   | 欠     | ○    | —    | —     | —    |
|      | 10月11日    | 第6回 総務産業常任委員会      | 1    | ○         | ○   | —  | —     | ○    | —    | —     | ○   | —     | —    | 欠    | ○     | ○    |
|      | 10月15日    | 第10回 広報特別委員会       | 1    | —         | —   | —  | —     | —    | —    | ○     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | —    |
|      | 10月18日    | 平成29年度各会計決算審査特別委員会 | 1    | ○         | ○   | ○  | ○     | ○    | ○    | ○     | ○   | 欠     | ○    | ○    | ○     | ○    |
|      | 10月22日    | 第11回 広報特別委員会       | 1    | —         | —   | —  | —     | —    | —    | ○     | ○   | 欠     | ○    | 欠    | ○     | —    |



天高く馬肥ゆる秋

◆議会広報特別委員会◆

委員長 杉田 尚美  
副委員長 佐々木 亮子  
委員 音喜多 政東  
委員 南谷 健  
委員 佐々木 敬治  
委員 中川 孝之

お知らせ

議会・委員会を傍聴しませんか。

町議会では、議場で行われている本会議や特別委員会だけではなく、3階委員会室で行われる常任委員会も傍聴できます。

委員会の開催日程はインターネットで確認できますので、みなさん、気軽にお越しください。

『声の議会だより』を  
発行しています

議会だよりを朗読・録音し、希望者にテープの貸出をいたします。

お気軽にお申し付けください。

●詳細は、町役場内議会事務局まで  
TEL52-3131